

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

湖鳥会会報

第 12 号 平成 22 年 9 月 鳥取大学 工学部 電気電子工学科 同窓会 「湖鳥会」



〈目 次〉

- 学科長あいさつ
- 会長あいさつ
- 電気電子工学科卒業生数
- 教職員からのご挨拶
- 同窓会だより
- 2009 年度事業報告・2010 年度事業計画
- 2009 年度決算報告・2010 年度予算案
- 湖鳥会役員一覧
- 湖鳥会からの連絡先

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会
「湖鳥会」事務局連絡先

〒680-8552 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地
鳥取大学 工学部電気電子工学科 気付
電気電子工学科同窓会「湖鳥会」

TEL : 0857-31-5247 FAX : 0857-31-0880

E-mail : sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp mohki@ele.tottori-u.ac.jp

ホームページ <http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp/>

◇学科長あいさつ◇



鳥取大学大学院工学研究科長
情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース
コース長 安東 孝止

電気・電子工学科 OB の皆さま

極端な集中豪雨を伴った変則・梅雨が明けたと思ったら酷暑日の連続で、老いも若きも悲鳴すら出せない厳しい夏が続いています。それでも、正気を取り戻してあえぎながら OB の皆様へ“暑中御伺い申し上げます”。今は8月初旬、夏真っ盛り、学科の責任行事は少なく（子供電気・電子教室、OPEN キャンパス……など）うだるような蒸し暑さのせいにして、年寄りの愚痴・心配、を少しく書いてみようと思います。初めに、当電気電子工学科は、若い優秀な教員にも恵まれて、この夏も優良学科として、JABEE 学科として善戦していることを報告させていただきます。

一方、当学科などの真面目な(?)善戦などには一切かわりなく、我々をとり囲む大学環境は、この数年、急激な変化(劣化)に見舞われています。全国の国立・私立大学の多くが、学生確保に生き残りをかけ、その結果、高校生へのサービス営業授業、入ってきた大学生への“手とり足とりの子供のお客扱い”。また、大学の教員においては、学生と裸で相撲をとれる教員、ゲンコツで叩けるような元気の教員は、朱鷺(トキ)ではないですが、絶滅状態になってきています。一言で言えば、ベクトル(舵とり)の向きを履き違えた、陳腐な行き過ぎた管理・指導体制がまん延してきている状態、とでも言えるのでしょうか：夜が更けたら、酒をのんではいけない、学内敷地でたばこを吸ってはいけない、奇声をあげてはいけない……得体の知れない禁止令(妙にきれいな印刷物)を刻んだ“立て札”が炎天下の中でも倒れずに立っています(誰一人、取り外す人もいません)。このような愚痴めいた状況を、この大事な小欄に敢えて書きましたのは、これを世間の人や、本学の OB の方がたにまで「時代のなせる業」と、簡単に片付けられては困るからなのであります。なにか間違ったベースの配置をしたままで、変なルールの野球・ソフトボール(のまねごと)をしているような状態?を、なんと少しでも、まともな、活気のある“田舎の伝統ある大学”に呼び戻したいからであります。

この夢のような一類の望みを捨て去ることができないのは、私自信が年齢を重ねたせいだけではなく、他の少なからぬ教員(少し昔風の)も同じ希望を共有しておられる、と信じているからであります。勿論今となっては、少数キャリアの“たわごと”かもしれませんが…工学部の玄関の前の異常に育った松の木の中で、夏のくそ暑さにもひるまない蝉たちの大合唱を背にして、非力で賢くない頭を掻きながら、ひねりながら悪戦苦闘している教員がまだ少しはいることを、聡明な OB の方がたに知って頂きたく、今の大学の状況を恥を承知で綴りました。今こそ気骨のある大学再生へ多くの OB の方がたの御知恵、パワーを拝借できればと願わずにはられません。

会社・企業を卒業された古参の OB の皆さま、現役真最中の OB の皆さま、また、入社したての若いパワフルな新 OB の皆さま、全ての OB の皆さまのご健康と益々のご活躍を祈願して平成 22 の盛夏報告とさせていただきます。

◇会長あいさつ◇



昭和 43 年(第 4 期)鳥取大学工学部、電気工学科入学
勤務先：鳥根三洋(株) 代表取締役
吉田 和行

湖島会会員の皆様へ

本当に暑い今年の夏でした、内需拡大には少しは役立つ猛暑とのことですが、このところの急激な、83 円近くにもなった円高、ドル安、ユーロ安のため、株価も日経平均 9,000 円を割り込むなど、せっか

く輸出頼りで上向き加減であった国内景気が腰砕けになりそうなこのごろです。本稿が印刷される頃には、政府、日銀による何らかの景気浮上策への断固たる措置が実施されていることと期待しています。8月中旬、地方テレビ局による、急激な円高に対しての企業の現状を聞く、との名目でTVインタビューを受けました。輸出割合が少なくない私どもの事業では、「断固たる措置」を切に期待せざるを得ません。海外生産で、かつ部品の現地調達が明らかなる“解”ではありますが、物造りを生業としている私どもにとって、日本での“物造り”は如何にあるべきかと、悩めば悩むほど着地点が遠のくように思えるこのごろです。7月中国華南地区を訪問しました。華南地区では私ども、一部の製品を生産し、それを輸出すると言った、いわゆるアウト-アウトのかたちでの仕事をしています。中国は中国で、沿岸地区の労働者賃金が高騰し、加工貿易に力を注いでいたものが、今や、内需拡大策へ舵を切ったといわれています。現地会社の幹部との間で、この賃金上昇が大いに話題となり、昼食をとったホテルのレストランで、ウエイトレスに失礼ながら賃金を聞いてみようということになり、故郷のご両親にはちゃんとお金を送っていますか？との問いかけより始め、最終的に彼女の賃金額を聞きました。まさに新聞等で言われている額であり、賃金が急速に底上げされていること実感した次第です。8月の最終週に米国出張し、帰国後この原稿を書いています。イラク撤退、アフガン継続と軍事、軍需の話題花盛りの中、米国は東部、中部、西部と廻りました。本当にこの国は不景気なのだろうかと思いつつも、景気、雇用、政府崩壊がUSA Today 世論調査でのトップイシューと報じていました。11月の中間選挙を控え、予想される現政権での、なりふり構わぬ雇用拡大策は、製造業活性化への軍需、民生両面での輸出頼りは避けられず、ドル安やむなしの策となることでしょう。TV また、注意深くみた新聞では日本そのものが全く話題となっていないことが現実です。余談ですが、一連の打ち合わせで、円高ゆえに価格を引き上げてくれる取引先は一社も無かったことも事実です。

世界情勢はめまぐるしく変わり、何が正しいのか判断が困難で、多様化した現社会で、それぞれの道を究めようとしておられる、湖鳥会会員の皆様、ますますご活躍のことと存じます。先日久しぶりに大学構内に入り、新発見をしました。それは大学の正門を潜ると、正面に、大きく、高く立派に改修された時計が威風堂々と立っていることです。今まで、どうして気づかなかったのか、聞けば昨年3月に改修されたとのこと。時計塔が学び屋のシンボルとなっているところ多くありますが、この正門から見える新時計塔が立派に感じるのは私だけではないと思います。湖鳥会の皆様も是非機会を見つけ立派になった時計塔を観察がたら、学内を散策されては如何でしょうか。

お待ちしております。

○電気電子工学科 在學生 (2010年3月10日現在)

工学部 電気電子工学科 在籍学生数：計316名

大学院 工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース (博士前期課程)：計68名

工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース (博士後期課程)：計15名

○電気電子工学科 卒業生 (2010年4月1日現在)

学部卒業生総数 3,094名 (1969年3月～2010年3月)

旧電気工学科 934名 (1回生：1965年4月入学～24回生：1988年4月入学)

旧電子工学科 779名 (1回生：1968年4月入学～21回生：1988年4月入学)

電気電子工学科 1,381名 (1回生：1989年4月入学～16回生：2006年4月入学)

(このうち、JABEE 認定修了者数 465名)

大学院博士前期課程 (修士) 課程修了生総数：835名 (1971年3月～2010年3月)

旧電気工学科 131名 (1回生：1969年4月入学～24回生：1992年4月入学)

旧電子工学科 173名 (1回生：1972年4月入学～21回生：1992年4月入学)

電気電子工学科 531名 (1回生：1993年4月入学～14回生：2008年4月入学)

大学院博士後期課程

情報生産工学専攻 (電子情報システム講座) 修了生総数：52名 (1997年3月～2010年3月)

(1回生：1994年4月入学～14回生2007年4月入学)

◇2010年度・卒業生の進路◇

就職・進学状況

業 種 別	学 部	博士前期	博士後期
電気機械器具製造	4	4	0
建 設	3	3	0
情 報 通 信 業	2	1	1
サ ー ビ ス	1	1	0
一般機械器具製造	3	5	0
その他の製造業	5	13	0
電気・ガス・熱・水道	1	1	0
公務員・教員	1	0	0
その他の企業	0	0	0
そ の 他	4	0	1
進学(専門学校を含む)	39	2	0

就職先(大学院・学部) 求人会社総数 480社

【大学院】 本田技研工業(株)・中国電力(株)・三菱電機(株)・ローム(株)・三菱重工業(株)・(株)IHI・(株)竹中工務店・セイコーエプソン(株)・(株)ノーリツ・中西金属工業(株)・日立造船(株)・東ソー(株)・福伸電機(株)・(株)ジェイテクト・(株)かんでんエンジニアリング・兵庫製紙(株)・(株)かどゆ電設・三菱重工プラント建設(株)・三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)・日本セラミック(株)・三菱電機コントロールソフトウエア(株)・キャノンマシナリー(株)・(株)サニー技研・八千代工業(株)・丸住製紙(株)・イームル工業(株)

【学 部】 西芝電機(株)・本田技研(株)・(株)ワールドインテック・九州電力(株)・野里電気工業(株)・(財)中国電気保安協会・三菱電機待機システム(株)・メルコパワーシステムズ(株)・船井電機(株)・FDK 鳥取(株)・(株)サノテック・デービー精工(株)・中電工(株)・(株)レッドバロン・(株)日本ロック・気高電機カブ・リコーマイクロエレクトロニクス(株)・西日本電気テック(株)・公務員・Canon opto (Malaysia) Sdn Bhd

電気電子工学科 公開行事 (平成 21 年)

- オープンキャンパス (8/2)
 - 参加者：約 30 名
 - ・学科の紹介、JABEE 認定校、取得可能な資格
 - ・実験室、研究室見学
- ふれてみる不思議な電気の世界 2009 (8/7)
 - 参加者：小学生 42 名
 - ・午前：見学
(音の実験、超高電圧実験、超伝導実験、静電気実験、家電製品の解体実験)
 - ・午後：工作
(白炭空気電池、超省エネラジオ、風力発電)
 - ※平成 21 年度独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 地域の科学舎推進事業
- 研究室公開 (10/10)
 - 大学祭に合わせて毎年研究室を公開、スタンプラリー
- 秋のオープンキャンパス (10/10)
 - 大学祭にて工学部の紹介
- 保護者説明会 (10/10) 参加者約 85 名
 - ・学部説明会
 - ・学科説明会：教育改革システム、学科紹介、就職・進学状況、研究室紹介
 - ・個人面談
- 産学連携講演会 (11/21)
 - (旧友と母校の再会 in Osaka 2009)
- 卒業研究発表会 (2010・2/13)
 - 「きなんせ! 電気電子の未来 2010」
 - 参加者：全教職員、全研究室配属学生、保護者、一般
 - 場 所：鳥取市文化センター
 - ・ショートプレゼンテーション (63 名)
 - ・ポスタープレゼンテーション
 - 終了後懇親会 (鳥取大学生協)

マスメディア関係

2009 年 7 月 2 日放送

フジテレビ系列「全国一斉!日本人テスト」

出演：西村准教授

内容：江戸時代に作られたエレキテル (静電気を発生させる装置) を再現し、色々な実験を行った。

◇教職員からのご挨拶◇

「40年間の研究生活を振り返って」



情報エレクトロニクス専攻
電子回路工学・教授

小西 亮介

人生の2/3を鳥取大学でお世話になった。紙面の制限上、研究面以外について様々な思い出があるが割愛することにした。

40年前、電子工学科の故加藤益教授の助手としてスタートした。当時1学年40名程度で修士課程もなく事務室にも2名の正規職員が在籍し、今日と比べると隔世の感があった。研究室にはすでに原田助手(1993: 応数に助教授で転出)、尾崎技官が在籍されており、テーマとして物質表面の吸着現象による電子状態の変化を計測する新しい分光手法の開発に取り組んだ。その成果を学位論文にまとめることができたが、実験は超高真空中で行うなど実験に費やす経費や時間は甚大なため、以後のテーマについて表面の吸着現象を応用した「においセンサー」の開発に取り組むことにした。その矢先、加藤教授が急逝(1989/11)され、笹倉教授が当研究室に移籍されたこともテーマを変える要因になった。「におい」の源になる分子の吸着状態の変化を電気信号として取らえるセンサーの作成を試みた。更に計測システムにファジー・ニューラルという識別法を積極的にとりいれ新しい「におい判別法」の提案を行った。

年号が平成に改まった当時、学科の再編(電気電子工学科設置(1989))、博士課程の新設があり、私自身の研究テーマが物性からシステムにシフトした時期でもあった。笹倉教授退官後(1991)、電子回路研究室の教授(1992/10)として学生の指導にあたることになった。菅原助教授着任後(1994)、「におい」という人の5感の1つ(嗅覚)から新たに聴覚、視覚を模した情報を取り入れた研究を対象を広げた。そして「視覚情報を用いた雑音環境下での音声認識」というテーマで「唇の動き」を取り入れた新しい手法の提案を行った。菅原助教授転出後(2002年知能教授)、齊藤助教(2004)に着任してもらい、特に「読唇手法」に絞り、それをロボット技術に応用するテーマも取り入れ今日に至っている。気がついてみると、40年間でテーマがマイクロからマクロへ、物性からシステムへ横断的に変えていった。今年、齊藤助教も九工大に准教授として転出し、40年間一緒だっ

た尾崎技術官と2人で最後の1年を迎えることになった。最後に電気電子工学科の卒業生の皆さん、諸先生方にはいろいろお世話になり、改めて感謝申し上げます。

「転任のご挨拶」



情報エレクトロニクス
電子回路工学・助教

齊藤 剛史

湖鳥会の皆様、ご無沙汰しております。湖鳥会会報第9号で挨拶させていただいて以来になります。電子回路工学研究室で小西亮介教授のもと2004年5月から約6年間、助手・助教として研究・教育・学科運営に携わってきましたが、2010年4月より九州工業大学情報工学研究院(福岡県飯塚市)へ異動することになりました。

短い期間でしたが、その間、小西教授、尾崎技術専門職員と共に研究室配属生への研究指導、講義・演習・実験を通じて学部生への教育指導に従事してきました。特に研究指導に関しては、学生にpassiveでなくactive、そして自信と誇りをもって研究に取り組んでもらいたいと思い指導してきました。その思いが通じたかは???ですが、卒業研究発表会や修士論文公聴会でどの学生も立派に発表し、成長できた姿を見られたことが教員として喜ばしかったことです。さらに6年間に研究室から5名が学科発表優秀賞(B4対象)、4名が研究優秀賞(M2対象)を受賞し、さらに3名が学会発表で受賞されました。研究室外の先生方からも高い評価を受けたことは、社会に出ても大きな糧になると思います。指導方法の反省点が多々ありますが、これまでの経験を生かし新天地で指導します。

また電気電子工学科では、研究と講義・演習・実験などの教育だけでなく、学級教員、FD活動の担当委員、学外卒業研究発表会や大学祭研究室公開、ふれてみる不思議な電気の世界などの学科運営に携わることができました。通常の研究や教育活動では学ぶことができない様々な経験ができ、私自身も成長できたと思っております。

最後に研究に関して、視覚情報から発話内容を理解する読唇、Computer Visionによる移動物体の追跡、電動車いすをベースとした移動ロボットについて取り組んできました。これらのテーマは九州工業大学においても継続して研究を進めよう考えております。

これまでお世話になりました諸先生、事務職員

の皆様、卒業生・修了生の皆様、在学生の皆様、本当にありがとうございました、皆様のますますのご健康とご活躍、電気電子工学講座の一層の発展をお祈りします。

◇同窓会だより◇

関西地区で同窓会開催！

旧友と母校の再会 in Osaka 2009

～鳥取大学電気電子工学科

44年間の歩みと未来～

日時：平成21年11月21日（土）

場所：中小機構経営支援プラザ UMEDA

（大阪市北区梅田）

主催：鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学講座

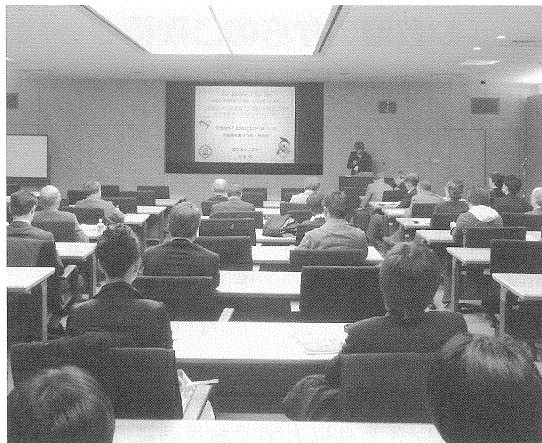
共催：鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会「湖鳥会」、鳥取大学工学部、鳥取大学工学部同窓会

一昨年の東京に引き続き、昨年は大阪梅田において同窓会を開催いたしました。ご多用にもかかわらず多数の卒業生にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

同窓会では以下のような式次で講演会を行いました。●安東電気電子工学コース長挨拶、●岸田副学長挨拶、●吉田湖鳥会会長挨拶、●会見工学部同窓会会長挨拶、●現在の電気電子工学科（安東教授）、●技術交流会（近藤教授、李教授、大観准教授）、●中小機構による新たなモノづくり支援について（中島康明氏（中小機構経営支援プラザ））、●パネル討論（卒業生から見た電気電子工学科の現状と教育・研究への期待）「パネラー：高田宏康氏（コミュニチュア）、山田恒身氏（ZIRION）、鷲見育亮氏（鳥取環境大学）、安東教授」。さらに、講演会終了後に懇親会を開催いたしました。同窓会を開くことにより、先輩、後輩の繋がりを強めることができたのではないかと感じております。また、パネル討論では電気電子工学科と同窓生との今後の連携のあり方、在学生在が就職するまでに習得すべきことなどが議論され、有意義な討論会となりました。ご参加いただきました卒業生の皆様並びに教員の皆様に感謝いたします。

2010年度は11月6日（土）に鳥取大学東京リエゾンオフィス（東京都港区芝浦）において同窓会を開催する予定です。同窓会に足をお運びいただければ幸いです。

（助教 笹岡）



「旧友と母校の再会 in Osaka 2009～鳥取大学電気電子工学科、44年間の歩みと未来～」に参加して



昭和47年度卒業

山田 恒身

ジリオン・ネットワークスの山田と申します。昭和46年に卒業して株式会社IHI(旧社名：石川島播磨重工業)に入社して以来、リクルータで毎年、鳥取大学を訪問させて頂いて何人かの電気電子の学生さんをIHIに入社していただきながら副井先生はじめ沢山の電気電子の先生方とは約40年近いお付き合いをさせていただいております。さらに平成20年4月から平成21年12月まで縁があって鳥取市に単身赴任しておりました。そのような訳で鳥取大学には仕事でも人脈でも色々お世話になっておりました。

今回、大阪での同窓会に参加しての感想というよりは湖鳥会（というより電気電子への先生方、学生の皆さんに）へ下記のような期待をしております。

1. 理論だけで終わる研究でなくそこから物作りのビジネスに繋がる研究をお願いしたい。
2. 大学自身でも収入を得られる学内組織があったらと思います。それにはまず大学内に経済学部を創設し、共同でビジネスを企画し、我々企業と連携して成功事例を作ることにより活性化が期待できます。

3. 電気電子の研究成果を我々企業 OB に発信できるような仕組み作りをしたらいかがでしょうか。
4. 通常は企業からの大学へ共同研究のアプローチをお願いしますが、電気電子からも我々企業へ共同研究要請をもっと積極的に PR したらいかがでしょうか。

湖鳥会を通じて各企業で活躍しておられる卒業生が今後ますます協力して「大学と OB」、「OB 同士」の太い連携パイプにより電気電子の研究成果がビジネスに繋がるようにしたいものです。

◇ 事業報告・計画 ◇

● 2009 年度 事業報告

1. 2009 年度理事会の開催
2009 年度 11 月 21 日（土）18：30～19：30
大阪市北区梅田 中小機構支援プラザにて理事会を開催しました。
2. 2009 年度卒業・修了生の入会手続き及び会費 5,000 円を徴収しました。
3. 名簿データ管理・修正作業
卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理、修正を行いました。この作業にはパート職員を雇用し、作業の効率化を図りました。
4. 湖鳥会ホームページの更新
電気電子工学科 立木技術職員の協力のもと、湖鳥会ホームページの更新作業を行いました。

● 2010 年度 事業計画

1. 2010 年度理事会の開催
2. 入会手続き・会費徴収作業
2010 年度卒業生の入会手続き及び会費 5,000 円の徴収作業を行う。
3. 名簿データ管理・修正作業
卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理・修正を行う。
4. 工学部との連携
今年度も、工学部同窓会幹事に湖鳥会より学外幹事および笹岡直人（学内幹事）が参加し、工学部同窓会の運営を行う。
5. 湖鳥会ホームページの更新
学生アルバイトによる作業の効率化を図る。

6. 会報の発行
2010 年 7 月を目途に会報を発行する。
7. 会費の請求
名簿を発行する場合には、2,000 円×3 年=6,000 円（名簿発行時に請求）を請求する。
8. 鳥取大学電気電子工学科同窓会～旧友と母校の再会～の開催補助。

◇ 2009 年度決算報告 ◇

◇ 2010 年度予算案 ◇

収入の部（単位：円）

項目	2009 年度 予算	2009 年度 決算	2010 年度 予算（案）
同窓会・ 設立基金	0	0	0
入会金	300,000	250,000	300,000
会費	0	0	0
利息	0	212	0
前年度繰 越金	879,253	879,253	526,279
合 計	1,179,253	1,129,465	826,279

支出の部（単位：円）

項目	2009 年度 予算	2009 年度 決算	2010 年度 予算（案）
設立総会 準備費用	0	0	0
会報発行	300,000	300,316	300,000
名簿発行	0	0	0
名簿管理 アルバイト	20,000	10,000	20,000
総会補助	0	0	0
学科補助	120,000	154,770	120,000
事務費	150,000	115,200	150,000
会議費	20,000	0	20,000
通信費	10,000	5,460	10,000
慶弔関連	0	16,390	0
その他	0	1,050	0
繰越金	559,253	526,279	206,279
合 計	1,179,253	1,129,465	826,279

◇特別会計◇

収入の部 (単位: 円)

項 目	2009 年度決算
定期預金	1,719,942
利子	2,499
合 計	1,722,441

支出の部 (単位: 円)

項 目	2009 年度決算
	0
繰越金	1,722,441
合 計	1,722,441

◇ 湖烏会役員一覧 ◇

会長 (1名)

吉田和行 (第4回電気・鳥根三洋機)

顧問 (1名)

鷺見育亮 (第1回電気・鳥取環境大学)

副会長 (若干名)

川端哲男 (第2回電気・東芝)

安木秀明 (第3回電気・三洋電機)

豆田順一 (第1回電子・日立製作所)

監事 (2名)

松岡良明 (第1回電気・)

井上健太郎 (第2回電子・三洋電機)

幹事 (若干名)

加納尚之 (第17回電気・米子高専)

岸田 悟 (第4回電子・鳥取大学)

北川雅彦 (第3回電子・鳥取大学)

田中堅太郎 (第7回電子・三洋電機)

藤村喜久郎 (第14回電子・鳥取大学)

西浦順一 (第15回電子・日本ライツ)

有岡正登 (第17回電子・日本セラミック)

大木 誠 (第18回電気・鳥取大学)

安東孝止 (第3回電気・鳥取大学)

笹岡直人 (第10回電気電子・鳥取大学)

理事 (若干名)

藤井滯士 (第1回電気・近畿電気工事)

松本昭夫 (第2回電気・三菱電機)

奥田和基 (第4回電気・西部電気建設)

山下政美 (第4回電気・リコーマイクロ)

石田義則 (第5回電気・日立製作所)

畑 博道 (第5回電気・自営業)

川上孝志 (第6回電気)

深田哲司 (第6回電気・松下電器)

原田光夫 (第7回電気・三洋電機)

清水 恵 (第9回電気・三菱電機)

宮脇一彦 (第9回電気・三洋電機)

大賀昌二 (第10回電気・日立製作所)

表 則夫 (第13回電気・三洋電機)

岸田達治 (第14回電気・三洋電機)

竹内克徳 (第14回電気・三洋電機)

吉田清春 (第15回電気・三洋電機)

米村幸雄 (第16回電気・リコーITソリューション)

里 友成 (第17回電気・三洋電機)

山方秀則 (第17回電気・三洋電機)

立花慶治 (第18回電気・大学生協)

山根一博 (第18回電気・三洋電機)

原 雅人 (第19回電気・鳥取県庁)

村上 博 (第1回電子・ニッポ電機)

寺谷茂樹 (第3回電子・三洋電機)

栗本保夫 (第5回電子・福田設備設計事務所)

山根幹仁 (第6回電子・三洋電機)

岡本公夫 (第8回電子・竹田電子工業)

河原宏之 (第8回電子・日本電装)

桑田孝明 (第8回電子・日本電気)

岡垣光則 (第9回電子・三洋電機)

原川藤夫 (第10回電子・持田製薬)

三木公保 (第11回電子・三井造船)

椎木正敏 (第12回電子・日立製作所)

西村 晋 (第13回電子・三洋電機)

福島 淳 (第14回電子・日本電気)

村上 誠 (第18回電子・三洋電機)

電子メールアドレス

会長及び学内幹事の電子メールアドレスは以下の通りです。

湖烏会へのご意見やこの欄での記事等がありましたらご連絡お願い致します。

氏名	電子メールアドレス
大木 誠	mohki@ele.tottori-u.ac.jp
岸田 悟	kishida@ele.tottori-u.ac.jp
笹岡 直人	sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp
ホームページ	http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp